

～2026 年度 山口大学 学内業界・企業研究会 の参加企業の皆さまへのお願い～

学内業界・企業研究会 参加 ガイドライン

山口大学 キャリアセンター長 柴田勝

山口大学が開催する学内業界・企業研究会に、ご協力いただきありがとうございます。

この研究会は、学生が働くことをリアルに学ぶために開催する研究会で、今年で 27 年目となります。学生が自ら主体的に学ぶ機会として、これまで数多くの企業等の皆様のご協力により開催してまいりました。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

国立大学協会等により構成される就職問題懇談会は、学生の学修時間の確保や留学などの多様な経験を得る機会の確保など、学生の学修環境の整備のために、採用にかかわる広報活動は 3 月以降、選考活動は 6 月以降とすることを申合せております。とともに、企業等の皆さまへ要請をしています。

参考) 内閣官房「2027 年(令和 9) 年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請」
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku_katsudou_yousei/2027nendosotu/index.html

本学は、この「申合せ」に則り、学内業界・企業研究会は、採用選考・採用広報の場ではないことを明確にして開催いたします。参加企業等の皆様におかれましては、本研究会の趣旨をご理解の上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

この研究会は企業の採用活動の場ではなく、学生のキャリア教育にご協力いただくものであることを明確にするために、以下の点を確認させていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

- ① 対象学年を限定せず、1 年次を含む全学年を対象とした研究会です。すべての学生に対して、ご教示ください。
- ② 学生の服装は自由です。普段の服装で参加させます。
- ③ 採用のための個人情報の収集を目的としたアンケートはお断りします。また、この研究会の参加の有無が採用選考に影響することがないようにお願いいたします。

担当 キャリアセンター 教授 平尾元彦
キャリア支援課 守永・岡丸
e-mail : job@yamaguchi-u.ac.jp
TEL 083-933-5167 or 5145

学内業界・企業研究会 2026 **ガイドライン** の解説

山口大学 キャリアセンター 教授 平尾元彦

hirao@yamaguchi-u.ac.jp TEL 083-933-5145

政府要請のもととなっている就職問題懇談会による学校間の「申合せ」には、就職活動の早期化・長期化を避けて学修環境を守るとともに、キャリア教育の拡充の観点から、以下の記述があります。本学もこれを遵守しています。

各大学等は、学生が卒業・修了年度に入るまでは学業等に集中できる環境を整備することに努める。一方で、企業等と連携したキャリア形成支援活動は重要であり、卒業・修了年度に入るまでに行う場合もあるが、就職・採用活動とは切り分けて実施する。

山口大学の学内業界・企業研究会は、まさにこの卒業・修了年度に入る前に行う「キャリア形成支援活動」（以下、キャリア教育と言う）であり、就職・採用活動とは切り分けて実施するものです。あくまでも教育活動・学習活動です。

学内業界・企業研究会の参加にあたり、以下のことを求めます。

趣旨の理解と広報

キャリア教育の一環として開催する研究会です。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。学年を指定することは、できません。ただし学習内容・学習レベルを限定することは可能です（力学を学んだもの、大学院生以上など）。

研究会では、採用情報以外の広報は可能です。ここで言う広報とは、不特定多数に対する情報提供で、ここに参加しないと得られないことのないようにお願いします。個人情報取得しての一对一のやり取りは、早期化の疑念をうみかねませんので、避けてください。

本研究会は正課外の学習の場です。主体的に学びたい学生が参加します。結果的に学生の参加がない場合はあり得ます。あらかじめご承知おきください。原則として前々日までの事前申込制です。前日には参加申込数がわかります。

個人情報の厳格な取り扱い

参加学生の個人情報の提供はいたしませんし、取得もできません。採用広報は政府要請にもとづき卒業学年直前の3月以降です。インターンシップなど学習情報の提供は可能ですし、企業の窓口をお知らせいただくことも差し支えありません。申込等で必要な場合は連絡先等を取得いただいてもかまいませんが、そのさいマイページやナビ画面など個人情報保護ポリシーを明記した窓口より、学生が自主的に登録するようにしてください。利用目的を明確にしてください。目的外利用は厳に慎むようお願いします。

アンケートと称して紙を配って、個人情報を取得する行為はできません。学習効果の把握・意見聴取等は可能です。そのさいは個人情報なしでお願いします。

また、就職問題懇談会による学校間の「申合せ」には、以下の記載をもって学校には求人広告会社・就職支援サービス会社の利用について注意喚起をしています。

就職・採用選考活動の早期化を増長させないよう、学内での案内にも十分に留意する。また、本申合せを遵守しない事業者のサービスを学内の広報や業務委託等で活用すること、寄付等による資金提供を受け入れることは控えるべきである。

企業等の皆さまにおかれましても、求人広告会社・就職支援サービス会社の利用については、節度ある対応をお願いいたします。

参考) キャリアセンターコラム 045 早期選考は、なぜいけないのか

「早期選考」が盛んに行われています。就職活動ルールである3年生の3月より前に選考がなされることであり、夏のインターンシップのあと年内に、あるいは、3月直前の1～2月に選考がなされ、内定が出る人が多いようです。数年前まではほんの一部の企業でしたが、今年あたりは、多くなっているようです。学生たちの言葉にも、頻繁に登場しています。

早期選考には、批判があります。学業に専念させるべきだとか、そもそもルールは守らないのは良くないとか。いろいろ意見はありますが、私は、早期選考は「若者のキャリア形成を阻害する」という点でよくないと思っています。「キャリア教育のじゃまをする」と言ってもいいかもしれません。

大学生の多くは、世の中を知りません。就職活動は「知らない」から「ちょっとわかった」へ移行する活動。長い調整期間に批判はあるものの、その期を通じて自分の適性や意思を確認し、歩む道を選んで行きます。“探索期”を経て若者たちは、人生の重要な意思決定をしていくのです。早期選考はこの探索期に行われ、学生たちは探索をおろそかにして選考に進んでいくのです。これはいいことだとは思えません。

私は、「決めなくていいんだ。決めるということは他を見なくなることだ」と言っています。

早くから選考に進むことは、他の選択肢を見なくなるにつながります。これは、もったいない。大学生の就職活動は様々な情報を得て世の中を知り、仕事の世界に落とし込む、非常に貴重な機会です。この探索期を大人たちは、ちゃんと応援したいですし、すべきだと思います。人生100年時代と言われています。おそらく今の大学生はこれから80年間くらい仕事の世界を歩むことになります。その重要な第一歩です。その後、変化するかもしれません。変わってもいいのです。人生を歩んでいく基盤をつくるこの時期に、しっかりと世の中のことを探索してもらいましょう。

なかには早くから探索できていて、「もう道は決まった」という学生もいるかもしれません。そんな学生にこそ、「いまいちど考えてごらん」と声をかけたいと思います。世の中を知って、多様な仕事の世界を学んでから決めていいんだよ。たとえ同じ結論であっても、その方がずっといい。そう伝えていきたいです。

早期選考で数か月早く決めることが、その後の人生の貴重な機会を逃すことになりかねません。「若者たちの大いなる探索活動を応援する」そんな社会でありたいな。就職活動の前はしっかりと探索してくださいね。そう言える、余裕を持ちたいと思っています。

キャリアセンターコラム 2026.2.21 平尾元彦